



基本理念

1. 社員で考え、社員のための労働運動を目指す 企業内労働組合
2. 心とところをつなぐ相互扶助活動と、次代につなぐ社会正義の実現を目指す

# JUSTICE

自らを変える!! 明日を創る!! イーストイノベーション

ジェイアール・イーストユニオン

発行者 菅野 一位

編集者 教 宣 部

〒105-0021

東京都港区東新橋 2-8-28

TEL(J R) 057-7333

TEL(NTT) 03-6452-9687

ホームページ検索

「J R Eユニオン」



写真 佐藤康浩氏 (仙台地本) ご子息佐藤勇太様

# 謹賀新年

組織結成の原点に戻り、私たちの掲げた「会社と共に」を

現場から具現化し、次代につなぐイースト運動から

組合員と家族の幸せを実現しよう!

## 和五年 元旦

新年のあいさつ

ジェイアール・

イーストユニオン

中央執行委員長

菅野 一位

明けまして おめでとう  
ございます。本年も組合員

ご家族の皆さまにとって  
良きお年になるようお祈  
り申し上げます。

今年、「癸卯」の年にな  
ります。物事の終わりと始  
まりを意味し、これまでの  
努力が実を結び、勢いよく  
成長し飛躍する運気上昇  
の年です。

コロナ禍に苦しんだ3年  
ではありましたが、コロナ  
との闘いのステージは

新たな段階に移行し、ウイ  
ズコロナでの生活の中で  
感染防止と社会生活、職場  
活動を両立し、労働組合と  
して組合員家族の生活・環  
境の維持改善にしっかりと  
取り組まなければなら  
ません。

J R 東日本においては  
「変革2027」のスピー  
ドアップが強く打ち出さ  
れ、現場社員の負担は業務  
転換とコロナ禍での給与  
減収から、不安の中の仕  
事を余儀なくされていま  
す。

しかし鉄道を基盤とす  
るJ R 東日本は、国民の皆  
さまからの財産をもとに  
地域社会の活力となる基  
幹産業であるため、安全を  
最優先とした鉄道輸送と  
持続的な成長からの地域  
社会の発展を、地域の皆さ  
まと共に進めていかなけ  
ればなりません。

そのような中でイ  
ーストユニオンに課され

本年も宜しく

お願い申し上げます

中央本部 執行委員長 一同

執行委員長

菅野 一位

執行副委員長

斎藤 勝彦

斎藤 弘昭

国井 道徳

瀬藤 正樹

事務局長

菅井 正和

執行委員

添田 寿男

小林 徹志

鮫島 毅

会計監査

高橋 洋一

菊地 博英

た課題は、幾度となく試練を受けておりますが、JR東日本に当たり前健康な労働組合を創る初志は、少しも変わっておりません。組合員、役員の現状も大変厳しい状況になっておりますが、組織の悩みに埋もれているだけではすまないと思っております。JR東日本の危機、イーストユニオン存亡の危機に、このままではどちらもダメになるとの思いから、明治維新を起こした人たちのエネルギーを思い起こします。イーストユニオンの初志は、JR東日本の将来を担う社員への思いであり、そのことを考えることとあります。現状での一人ひとり、自分自身が大変厳しいことは承知する中で、自分を見るだけではなく、自分から外に向けた初志のエネルギーをもう一度皆さんにも思い起こしてほしい。不安が広がっている変革の危機にこそ、企

業内労働組合としての責務と労使関係からの役割が重要となります。働く側からも真剣に考え変革に関わっていきましょう。

結びに、2023年がJR東日本・東日本グループで働くすべての仲間の皆さまが、JR産業で働く仲間との総結集をJR連合傘下のもとで構築することを訴え、イーストユニオン組合員とご家族の皆さまそしてご理解を得ている仲間の皆さまのこれまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍する運気上昇の年となりますことを心よりご祈念申し上げます。

**日本鉄道労働組合  
連合会 (JR 連合)  
会 長**

**荻山 市朗**

明けましておめでとうございます。組合員と家族の皆様には健やかに新年を迎えられたことと、お慶

び申し上げます。また、日々の業務へのご精励と組合活動へのご協力に對して心より敬意を表し、感謝を申し上げます。

JR産業は長らくコロナ禍の影響に苦しんできましたが、昨秋からようやくご利用が増加に転じています。駅や列車の賑わいを見て、本当にありがたく感じます。昨年はJR連合結成30周年、鉄道開業150周年を迎えました。この大きな節目に続く2023年は、JR産業を本格的な回復軌道に載せるとともに、次なる30年の持続的な成長に向けたスタート台となる1年にしたいと考えます。そのために取り組むべき課題と方針について、最優先課題である安全の確立を大前提に置きつつ、以下3点申し上げます。

得ない中で、国に対し、感染防止と社会経済活動を両立して人の流れを支えるよう求めます。ルールを守れば、JRをはじめ公共交通による移動は安全だと確信します。2023年も「全国旅行支援」が当面は延長されますが、国や地方が息長く移動を促進するメッセージを発信することが不可欠です。また、

2点目に、JR連合が昨年10月に発信した「次なる30年の強くしなやかなJR産業を創る5提言」に示す通り、JR産業の持続的な成長のために、JR労使の自ら変革を推進するとともに、鉄道や公共交通に関わる国の政策の転換を求め、その転機となる意義ある一年にしたいと考えます。少子高齢化や人口

減少、高速道路の整備などの環境変化によるJRへの影響が、コロナ禍によって一気に顕在化しました。JR産業は国鉄改革に並ぶ大転換期を迎えています。「JR北海道・四国・貨物の経営自立をはじめ、JR各社が民の力をさらに発揮できる環境づくり」

3点目に、JR産業の魅力が低下し、職場で将来不安が拡大している実態に危機感を持ち、JR産業の仲間が意欲高く働き続けられるよう、賃金や働き方などの改善に向けて、中長期的な視点から取り組みを強化することとします。とりわけ、若手や中堅の離職増は深刻な課題です。2

023春季生活闘争では、労使で危機感を共有し、目先だけを見た交渉ではなく、あるべき賃金水準、労働条件、働き方などについて骨太の議論を深め、目標達成に向けてバックキャストが求められます。急激な物価上昇にも対応しなければなりません。JR連合TEAMとなって取り組む決意です。

不安が広がる危機にこそ、責任ある労働組合と労使関係の役割が重要となります。あらためて、JR産業に働くすべての仲間のJR連合への総結集、そしてJR各社の結束の強化とJR連合との信頼関係の構築も訴えます。

結びに、次代の展望を拓く明るい年とすべく、全力で取り組むJR連合の決意を申し上げます、新年のご挨拶とします。